



第1回常任理事会

日時 令和5年4月11日(火) 18:00～19:16
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、藤瀬・阿久津両監事、長瀬顧問
 (Web参加者) 梶監事
 (事務局: 本田事務局長ほか14名)

協議事項

第1号 日本医師会予備選挙管理委員の変更に関する件(目黒常任理事)

笹本常任理事から菅田常任理事に変更することと決定。

第2号 北海道国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦に関する件(伊藤常任理事)

外科1名辞任の補充につき、札幌市医師会より推薦のあった1名を委員に推薦することと決定。

第3号 北海道精神保健福祉審議会の委員の推薦に関する件(目黒常任理事)

藤原副会長に代わり、荒木常任理事を推薦することと決定。

第4号 北海道医師会職員貸付金の利率に関する件(目黒常任理事)

昨年度同様の1.6%とすることと決定。

第5号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件(高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座8件を承認することと決定。

第6号 個人情報保護管理体制・特定個人情報等保護管理体制の一部改正に関する件(目黒常任理事)

本年4月の人事異動に伴い、「個人情報保護管理体制」ならびに「特定個人情報等保護管理体制」を一部改正することと決定。

第7号 第1回理事会[4月15日(土)・Web併用]の議案に関する件(目黒常任理事)

第1回理事会の提出議案を決定。

第8号 北海道医師会・医師国保組合事務連絡協議会[5月19日(金)・Web併用]の開催に関する件(目黒常任理事)

新型コロナウイルス感染症拡大により中止していたが、Web併用にて開催することと決定。

第9号 第1回郡市医師会会長協議会[5月27日(土)・Web併用]の開催に関する件(目黒常任理事)

令和5年度の第1回郡市医師会会長協議会を、5月27日(土)16時からWeb併用にて開催することを決定。

第10号 その他

(1) 4月行事予定に関する件(事務局)

(2) 令和5年度主行事予定に関する件(事務局)

報告事項

1. 学校保健講習会[4月2日(日)・Web開催]について(三戸常任理事)

日医・松本会長および日本学校保健会・中川会長(代理:弓倉専務理事)の挨拶後、文部科学省初等中等教育局から中央情勢について、日医学校保健委員会から学校保健委員会小委員会について報告があった。その後、前文部科学省初等中等教育局特別支援教育課・山田泰造課長から「インクルーシブ教育について」、スポーツ庁政策課企画調整室・日比謙一郎室長から「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について」、自見はなこ参議院議員から「こども家庭庁 その目指すところ」について講演が行われた。受講者は465名であった。

2. 医師の働き方改革に関する意見交換会[4月4日(火)・Web併用]について(長谷部常任理事)

医師の働き方改革を進める上で、地域医療への影響や課題等について、各所属の立場から対応の方向性や進捗状況を伺い、情報共有を図ることを目的に北海道で開催した。まず、道からアンケート調査結果と特例水準の指定スケジュール等について、北海道医療勤務環境改善支援センターから宿日直許可取得の支援状況について報告があった。続いて、医育大学・医療機関や病院団体等から、取組状況や課題について報告があり、意見交換を行った。

3. 外部各委員会報告

(1) **第2回北海道CDR推進会議[3月27日(月)]について(三戸常任理事)**

令和4年度北海道CDRモデル事業報告書(案)について、天使病院小児科科長・佐々木理委員より説明があり、各委員がそれぞれの立場から現状と課題について報告の後、協議を行い、一部修正の上、承認された。また、令和4年度のCDR対象事例数は12事例であった。

(2) **第1回北海道鉄道活性化協議会幹事会[3月27日(月)]について(荒木常任理事)**

第5期(令和4年度)の事業報告・決算(案)および第6期(令和5年度)の事業計画・予算(案)、宗谷線や根室線など本道における鉄道利

用促進の主な取組状況等について説明があり、協議した。

(3) 第26回北海道医療対策協議会〔3月29日(水)・Web併用〕について(松家会長)

小玉副知事の挨拶後、事務局から「医師派遣(紹介)連絡調整分科会」、小職から「地域医療を担う医師養成検討分科会」、佐古副会長から「専門医制度等検討分科会」について、それぞれ令和4年度の検討・協議状況の報告を行った。医師派遣(紹介)連絡調整分科会では令和5年度に向け45名(昨年度から4名増)の医師派遣の決定をしたとのことであった。

(4) 北海道在宅医療推進支援センター第2回運営協議会〔3月29日(水)・Web会議〕について(藤原副会長)

北海道在宅医療推進支援センターの令和4年度の活動実績としてKDB(国保データベース)等を活用した医療圏域・地域単位別訪問診療等の実施状況の分析結果、保健所や医療機関へのヒアリング調査結果、医療アドバイザーの派遣状況等の報告後、医師の高齢化、在宅医療のニーズの把握、近隣の医療機関等との連携、ICTの活用等の在宅医療推進に向けた課題を意見交換した。

4. 中央情勢報告

「医療DX」について(荒木常任理事)

医療DXの骨格として国が進めている「全国医療情報プラットフォーム」、「電子カルテ情報の標準化等」、「診療報酬改定DX」の現状や課題、レセプト請求の請求状況、電子カルテシステム等の普及状況などについて小職から説明し、意見交換を行った。

第1回理事会

日時 令和5年4月15日(土) 16:00～17:51
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・伊藤・生駒・笹本・荒木・長谷部・菅田・寺本各常任理事、島田・鈴木・滝山各理事、藤瀬・梶両監事、長瀬顧問、志田委員
(Web参加者) 山科・青木両常任理事、今・恩村・沖・小西・吉田・柴田各理事、阿久津監事、深澤参与、井門副議長、久保田委員
(事務局：本田事務局長ほか14名)

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報告事項

(1) 第153回日医臨時代議員会〔3月26日(日)〕について(鈴木副会長)

松本会長の挨拶の後、角田副会長から令和5

年度事業計画と予算の報告があり、当会副会長・藤原財務委員長から財務委員会の結果報告があった。続いて議事に入り、常任理事4名を増員とする日本医師会定款・諸規程一部改正が上程され可決決定した。その後、代表質問が行われ、北海道から2題提出し、当会副会長・鈴木代議員から「組織強化と加入促進のための効率化について」質問を行い、釜范常任理事から、「入会・異動・退会の手続きのペーパーレス化については、クラウド上に会員情報システムを構築し、都道府県と郡市区の医師会員管理にも利用できるようにしたいと考えており、まず、令和5年度に郡市区医師会、都道府県医師会から意見をいただき、基本的な仕様を固めた後、令和6年度に実現化を進め、早期に運用を開始できるように取り組んでいく」との回答があった。このほか、札幌市医師会長・今代議員から「医療分野におけるサイバーセキュリティ(CS)対策について」の質問を行い、長島常任理事から「現在、日医公式YouTubeチャンネル『教えて！日医君！』で、CSの解説動画を制作中であり、完成次第ご案内する。日医ではCS支援制度を昨年6月に創設し、相談窓口を中心に3つの支援を行っている。相談窓口は、A1会員の医療機関、各医師会の事務局が無料で何度でも利用でき、さまざまなレベルの相談に対応しているので、ぜひ活用してほしい。厚生労働省の中長期的な対策では、24時間365日体制で医療機関に対する不審な通信などを監視し、サイバー攻撃を早期発見するためのセンター構築を検討することとされている。医療DXを推進するためには、CS対策は必須である。引き続き、国に対して要望を続けていく」との回答があった。

(2) 日医理事会報告(松家会長)

2月の理事会では、医療機関勤務環境評価センター第2回事業運営委員会の件、中医協の件、第72回厚生科学審議会感染症部会の件等の報告、令和5年度日本医師会事業計画、予算等について協議した。3月の理事会では、第97回社会保障審議会医療部会の件、第157回疾病・障害認定審査会感染症・予防接種審査分科会の件等の報告、ウクライナへの医療支援に向けた支援金支出の件等について協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

(3) 日医各委員会報告

1) 病院委員会〔2月15日(水)〕について

(佐古副会長)

「医療と介護の連携に関する問題点」と「日本の認知症施策の現状と課題」について発表後、12月23日開催の「社会保障審議会医療部会 かかりつけ医」ならびに12月28日開催の「第8次医療計画に関する検討会」、「社会保障

審議会医療部会 医療提供体制の改革に関する意見」について報告があった。その後、会長諮問「第8次医療計画で求められる医師会の役割」についてフリートーキングを行った。

2) 広報委員会 [2月16日(木)・Web会議] について (山科常任理事)

「日本医師会 赤ひげ大賞表彰式」「第6回『生命を見つめるフォト&エッセー』入賞作品」「日医君LINEスタンプの無料配布」等について報告後、日医の組織強化に向けて、広報としてできることについてフリーディスカッションが行われた。フリーディスカッションでは、『「医師の働き方改革」などへの日医の取り組みをm3等を活用してアピールする」「映画を会員割引で見られるようにするなど、会員特典を増やす方法を検討する」「様々な世代の意見を反映できる組織であることをアピールするため『広報サポーター』を設置する」などの意見があげられた。

3) 地域医療対策委員会 [3月1日(水)、3月29日(水)] について (笹本常任理事)

3月1日の委員会では、「かかりつけ医・かかりつけ医療機関とかかりつけ医機能のあり方」をテーマに鈴木邦彦副委員長(茨城県医師会会長)等から説明があり、意見交換を行った。3月29日の委員会では、「働き方改革の地域医療への影響」をテーマに、小職から北海道における検討状況等を説明し、意見交換を行った。

4) 警察活動等への協力業務検討委員会 [3月3日(金)] について (鈴木副会長)

委員長に小職、副委員長に福岡市医師会・大木實副会長が指名された。厚生労働省より「死因究明を行うための体制整備の推進について」および「死因究明体制の将来図」について報告があった。また、「都道府県医師会『警察活動に協力する医師の部会(仮称)』について」「今後の委員会の進め方について」をテーマに意見交換を行った。

5) 未来医師会ビジョン委員会 [3月4日(土)・Web併用] について (志田委員、佐賀委員)

新潟県福祉保健部・松本晴樹部長から「若手医師のニーズ変化に対応した新潟県の医師確保戦略を实践して分かった若手医師のホンネ」と題した講演があり、意見交換を行った。

6) 社会保険診療報酬検討委員会 [3月8日(水)・Web会議] について (伊藤常任理事)

会長諮問「令和4年度診療報酬改定の評価」について協議を行った。看護職員の処遇改善や不妊治療の保険適用に財源が割り振られた一方で、リフィル処方箋の導入などによる財源抑制も行われた改定であったが、新興感染

症に対応できる医療提供体制の構築として、外来感染対策向上加算の新設や、感染防止対策加算の見直しが行われたほか、かかりつけ医機能の評価と外来医療の機能分化として、地域包括診療加算の対象疾患拡大や機能強化加算の実績要件が追加されるなどした令和4年度の改定項目について議論した。

7) 学校保健委員会 [3月10日(金)・Web併用] について (荒木常任理事)

会長諮問への対応として、学校医に向けた手引きを作成するための小委員会が設置され、その進捗について報告後、学校健診での脱衣、児童生徒のマスク使用について情報提供があった。

8) 医療IT委員会 [3月15日(水)] について (橋本常任理事)

日医医療情報システム協議会が盛況に終了したことを報告後、佐原博之委員長(石川県医師会)よりEHRとPHRを中心に解説と議論が行われ、EHR実現のために医師会は先導していくべきと結論づけた。また、会内で実施したアンケート結果を基に、地域医療情報連携ネットワークの課題について議論し、費用問題や人材不足などが課題として紹介された。

9) 母子保健検討委員会 [3月15日(水)] について (寺本常任理事)

兵庫医科大学精神科神経科講師・病棟医長の清野仁美先生より、「メンタルヘルスに不調を抱える妊産婦・母親への支援」について講演後、会長諮問に対しての勉強会と各県の情報共有を行った。今回は、小児科領域の講演とフリートーキングを予定している。

10) 男女共同参画委員会 [3月17日(金)・Web併用] について (寺本常任理事)

日医女性医師支援センター業務に関し、50代医師の将来のキャリアプラン調査(案)について検討した。また、5月に三重県・四日市市にて開催予定の男女共同参画フォーラムのプログラム確認し、会長諮問等に関するフリートーキングを行った。

11) 医師会共同利用施設検討委員会 [3月17日(金)・Web併用] について (久保田委員)

第30回全国医師会共同利用施設総会(9月9~10日・岡山県)について、分科会の報告候補施設より内諾が得られた旨の報告後、医師会共同利用施設設立状況等(令和5年4月1日現在)調査の内容を検討した。その後、会長諮問に関して、今回は検査・健診センター関係を中心に意見交換を行った。

12) 健康食品安全対策委員会 [3月20日(月)] について (滝山委員)

健康食品安全情報システム事業に情報提供

された新規案件について再審議した後、会長諮問について意見交換を行った。また、東京都が行った「健康食品に関する意識や認知度等」に係るアンケート結果について報告があった。

13) 外国人医療対策委員会 [3月29日(水)・Web会議] について (伊藤常任理事)

医療通訳士認定資格の概況、医療通訳制度の経過と今後の課題について説明後、日医ホームページに掲載する外国人患者向けポータルサイト構成案について協議した。その後、会長諮問に関するフリートーキングを行った。

14) 医療関係者検討委員会 [3月31日(金)] について (水谷常任理事)

会長諮問について、前回の論点のほか、専任教員・講師・実習施設の確保や財政面の課題等について議論を行った。また看護師の新たな資格制度創設の必要性について協議した。

15) 地域包括ケア推進委員会 [3月31日(金)] について (菅田常任理事)

中央情勢報告において、介護保険審議会介護保険部会の介護保険制度の見直し等について報告された。次に、全国の地域における取り組みについて報告があり、小職より4事例を紹介した。その後、今後の取り組み課題等について意見交換を行った。

16) 救急災害医療対策委員会 [3月31日(金)・Web会議] について (目黒常任理事)

会長諮問の検討にあたって設置されたワーキンググループ(1. 地域包括ケアシステムにおける救急医療、2. 日本医師会ACLS研修制度の検討、3. JMATのあり方、4. マスギャザリング災害に備えた医療体制)座長から前回委員会以降の進捗報告があり、意見交換を行った。小職が座長を務める「1. 地域包括ケアシステムにおける救急医療ワーキンググループ」においては、提言対象を日医と都道府県・郡市区医師会に分類し、論点を絞って議論する方針としたことを報告した。

17) 有床診療所委員会 [4月6日(木)] について (鈴木副会長)

第8次医療計画等に関する検討会がとりまとめた新興感染症発生・まん延時における医療に関する意見について説明後、有床診療所の日イベントや次期診療報酬改定に対する要望項目等について協議した。その後、会長諮問に係る論点等についてフリートーキングを行った。

18) 予防接種・感染症危機管理対策委員会 [4月6日(木)] について (三戸常任理事)

厚生労働省より、最近の感染症行政と、予防接種の近年の動向について説明後、予防接

種と薬剤耐性(AMR)対策の今後の動向等について意見交換を行った。

19) 勤務医委員会 [4月14日(金)] について (長谷部常任理事)

令和5年度全国医師会勤務医部会連絡協議会(10月7日・青森県)ならびに都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会(5月24日・Web開催)の内容等について協議した。また、諮問事項の検討にあたり、日医・都道府県医師会・郡市区等医師会の組織率を比較し、研修医に対するアプローチ方法や課題等について意見交換を行い、シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の挑戦”」(6月11日・日医会館)の開催概要を紹介した。

4. 承認事項

(1) トルコ・シリア地震への医療支援について (目黒常任理事)

日医の呼びかけに対し、当会から50万円を支援金として支出したことを承認決定。

(2) 北海道国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦について (伊藤常任理事)

外科1名辞任の補充につき、札幌市医師会より推薦のあった1名を委員に推薦することを承認決定。

(3) 外部各委員会等委員の推薦について

(目黒常任理事)

北海道精神保健福祉審議会に荒木常任理事を、北海道感染症対策連携協議会委員、新型コロナウイルス感染症対策専門会議委員ならびに同専門会議医療体制専門部会委員に三戸常任理事を推薦することを承認決定。

(4) 事務局の人事異動について

(松家会長、目黒常任理事)

事務局長を6月末まで再雇用することを承認決定し、令和5年度より円滑な運営を図るため、事業課を5課から3課に集約する職制の一部改正案、これにともなう4月1日付けの事務局人事案についても承認決定。

(5) 北海道医師会職制の一部改正、職員給与規程の一部改正、職員給与規程別表の一部改正、職員給与規程運用内規の一部改正について

(目黒常任理事)

4月1日付けの事務局組織改編等に必要な諸規程の改正について承認決定。

(6) 個人情報保護管理体制・特定個人情報等保護管理体制の一部改正について (目黒常任理事)

4月1日付けで当会の機構改革が行われたことに伴い、個人情報保護管理体制・特定個人情報等保護管理体制の一部改正を行うことで決定。

5. 協議事項

第1号 日本医師会予備選挙管理委員の変更に関する件 (目黒常任理事)

笹本常任理事から菅田常任理事に変更することと決定。

第2号 第1回郡市医師会長協議会[5月27日(土)・Web併用]の開催に関する件(目黒常任理事)

第1回郡市医師会長協議会を、5月27日(土)16時からWeb併用にて開催することと決定。

第3号 北海道医師会職員貸付金の利率に関する件(目黒常任理事)

昨年度同様の1.6%とすることと決定。

第4号 理事提案事項

特になし。

第5号 その他

(1) 令和5年度行事予定に関する件(事務局)

6. 道総医協関連事項(鈴木副会長)

令和4年度第6回理事会(令和5年2月11日)報告以降に開催された会議について報告した。

7. 閉会

ホテルにおいて開催すること、また、その提出議題を決定。

第6号 その他

(1) 5月行事予定に関する件(事務局)

報告事項

1. 都道府県医師会広報担当理事連絡協議会[4月13日(木)]について(橋本常任理事)

日医・黒瀬常任理事より「日本医師会の広報活動について」と題し、日医公式YouTubeの紹介と若い世代を中心にLINEを利用した情報発信を強化していくこと、今年度中に日医広報サポーター(仮称)の創設を予定していることについて説明があった。続いて、電通パブリック・アカウント・センター社会創発室戦略プロデュース部アカウントリード・興津修喜氏より、「医師会のイメージアップのヒント」と題し、広報活動を行う上で、年代に応じた広告媒体(テレビ・インターネット・SNS等)の選択、内容の情報発信をすることが望ましいとの説明があった。また、都道府県医師会の広報活動の取り組みについて、大阪府医師会では、大阪府医ニュースの月3回の発刊と医療に関する問題点、提言などを求めるために府医医療モニター制度を設置していること、広島県医師会では、医師会速報の月3回の発刊とゆるキャラ「もみじ医」によるFacebookを利用した情報発信、そしてイメージアップ戦略のため、官・学・民により構成された「広報戦略室(広報のプロで組織)」を設置しているなどの発表があった。

2. 北海道医師会・北海道獣医師会連携シンポジウム[4月16日(日)]について(三戸常任理事)

平成28年3月に北海道獣医師会と締結した学術協力の推進に関する協定に基づき、5回目となる連携シンポジウムをWeb併用で開催した。松家会長、北海道獣医師会・高橋徹会長(代理:田村豊副会長)からの挨拶後、「北海道における新型コロナウイルス感染症の新展開」をテーマに、やまだ動物病院・山田恭嗣院長から「新型コロナウイルスに感染した伴侶動物の臨床症状とその対策~国内初発症猫の経過~」、北海道保健福祉部・人見嘉哲技監から「北海道の新型コロナウイルス感染症対策」について講演があり、聴講者と意見交換を行った。参加者は123名であった。

3. 外部各委員会報告

(1) **第1回医療介護連携支援企画アドバイザー会議[4月13日(木)・Web併用]について**

(藤原副会長)

慢性心不全患者の再入院予防を目的に、北海道国民健康保険団体連合会内の研究会が作成した「現場実践を支援するためのツールBox」の実地研究として、今年度は中頓別町、栗山町、小樽市の協力を得て、それぞれの市町で在宅における医療介護連携に係る勉強会を開催する旨の説明後、地域包括診療料および地域包括診療

第2回常任理事会

日時 令和5年4月25日(火)18:00~19:04

場所 北海道医師会館・9階理事会室

出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問

(Web参加者) 青木常任理事

(事務局: 本田事務局長ほか14名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(目黒常任理事)

持ち回り審査で指定可とされた、法人化に伴う施設変更1名の申請者を指定医師とすることと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件(高橋常任理事)

専門医会・医学会・研究団体主催で申請のあった日医生涯教育講座8件の承認を決定。

第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件(生駒常任理事)

担当部持ち回り審査で承認した新規申請者18名と更新申請者44名を日医へ申請することと決定。

第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件(三戸常任理事)

担当理事持ち回り審査で承認した新規申請者2名と更新申請者2名を日医へ申請することと決定。

第5号 第164回定時代議員会ならびに第165回臨時時代議員会[6月17日(土)・18日(日)]の開催に関する件(目黒常任理事)

6月17日(土)に第164回定時代議員会を、6月18日(日)に第165回臨時時代議員会を札幌グランド

加算4類型の分析結果について報告があった。その後、勉強会で議論する事項や進め方、3市町の比較分析の着眼点等について意見交換を行った。

(2) 第15回北海道新型コロナウイルス感染症対策専門会議 [4月19日(水)] について

(三戸常任理事)

道内の発生状況、ワクチン接種の取組状況、感染症法・特措法の改正等について報告後、感染症法上の位置づけの変更に伴う道の対応について説明があり、意見聴取が行われた。

(3) 第14回北海道新型コロナウイルス感染症対策有識者会議 [4月20日(木)・Web会議] について (三戸常任理事)

新型コロナウイルス感染症への対応状況について報告後、感染症法上の位置づけの変更に伴う道の対応について説明があり、意見聴取が行われた。

4. 各部報告

(1) 第31回日本医学会総会2023東京 [4月21日(金)～23日(日)・Web併用] について

(高橋常任理事)

朝日生命成人病研究所長/国立国際医療研究センター名誉理事長・春日雅人氏が会頭となり、「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生100年時代を求めて～」をテーマに開催された。日医会長講演、日本医学会会長講演、特別講演、会頭特別企画、産業医セッション、専門医共通講習等が行われ、参加者は、現地とWeb参加を併せ約3万7,000名であった。次期開催は、令和9年4月23日(金)～25日(日)に大阪府で、大阪大学・澤芳樹名誉教授が会頭となり開催する予定。

(2) 第31回日本医学会総会産業医セッション [4月22日(土)] について (生駒常任理事)

日本医師会認定産業医の単位が取得可能な産

業医セッションについて、現地参加に加え、総会では初めて全国にサテライト会場が設置された。サテライト会場は全国で合計61か所、当会館においても終日(全6セッション)開催した。終日受講した人数は22名で、受講者は延べ238名(実人数52名)であった。

(3) 特定健康診査集合契約について

(三戸常任理事)

今年度の代表保険者である健康保険組合連合会ほか945保険者と4月1日付けで契約を締結した。集合契約参加医療機関数は1,425件、そのうち代行入力希望医療機関数は458件である。なお、昨年度の健診データ電子化代行件数は8,269件で、前年度比391件の増加となり、コロナ流行前と同等の受診件数となった。

(4) 北海道有朋高等学校通信制課程協力校受講生定期健康診断の委託契約について

(三戸常任理事)

平成23年から毎年協力している北海道有朋高等学校通信制課程協力校受講生定期健康診断について、4月17日付けで今年度の委託契約を締結した。契約期間は、令和5年5月8日から7月31日までで、健診単価は昨年度と同額である。今年度の受診対象者は1,128名であり、301医療機関にご協力いただくこととなった。

道総医協関連事項 (鈴木副会長)

1. 第1回地域医療専門委員会 [4月18日(火)] について (佐古副会長)

厚生労働省が示した「地域医療構想の進め方」に沿って地域医療構想に係る「令和5年度北海道取組方針」を整理したことについて事務局から説明があった。また、次期北海道医療計画で定める二次医療圏の区域設定の道の考え方などについて説明があり、二次医療圏の区域設定について協議した結果、二次医療圏の見直しを行わない方針とすることとなった。

「医師資格証」を持ちましょう

診療情報提供書等へのHPKI電子署名に対応しています



<問い合わせ先>

北海道医師会 事業第一課

TEL 011-231-7661

<http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/credential.html>

日本医師会電子認証センター

<http://www.jmaca.med.or.jp/>

『医師資格証』はHPKI(保健医療福祉分野公開鍵基盤)の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです